

## 美濃市古城山環境保全モデル林で

### 「実のなる木の植栽体験」が開催されました

令和5年10月29日(日)に、美濃市吉川町にある古城山環境保全モデル林(ふれあいの森)で、古城山環境保全モデル林協議会主催による「実のなる木の植栽体験」が開催されました。

植栽する実のなる木は、薬や染料にも使われるキハダを選びました。

スタッフによるキハダの説明を受けた後、植栽道具の唐鍬等を担いで、山を登って行きました。

現地に到着後、植栽方法の説明をスタッフから受け、唐鍬を使って苗を植える穴掘りを行い0.5メートルほどのポット苗を植えて行きました。

近年、せっかく植栽しても野生動物による苗の食害が多いため、食害を防止するための植えた苗木をプラスチックの筒(ツリーシェルター)により保護する作業も行いました。

参加者からは、「植栽関係の道具を持って山を登るのは、大変だったけど楽しかった」、「獣害に負けずに大きく育ててほしい」等の感想を頂きました。

作業の後は、薪で炊いたご飯とキノコがたっぷり入ったハヤシライスの昼食をおいしく頂きました。



管理棟前で開会式



キハダのポット苗



スタッフによるキハダの説明



キハダの植栽



1箇所に苗を3本植栽



昼食(キノコ入りハヤシライス)